

構造NEWS



法改正情報 . . .

- 木造の構造関連告示が、改正されました！
<http://goo.gl/DtkcMH>
- 仮設建築物の規定が、改正（緩和）されました！
<http://goo.gl/378kUB>

お役立ち情報 . . .

- ERIでは、中間検査の情報を、随時更新しております！
http://www.j-eri.co.jp/gyomu/inspect_main.html

ERI情報 . . .

- 名古屋支店で建築物省エネ法のセミナーを開催いたします！
<http://www.j-eri.co.jp/siten/siten.html>

ERIの構造Q&A

鉄骨造ルート1のスパンの取り方で、悩ましい場合があるのですが、正解ってあるのですか？



法文上は「架構を構成する柱の相互の間隔」となっていますが、地域(行政)によってその判断が分かれるケースもあります。例えば愛知県では、例規集の構造規定P.205に、参考になるケースが載っています。

<http://goo.gl/Mnlwix>

いずれにしても微妙なケースは、早めに確認検査機関にご相談頂くことをお勧めします！



ERI - 1 グランプリ.neo

～RC柱梁接合部の梁主筋通し配筋の検討～

「2015黄色本p.398」にRC純ラーメン部分の柱梁接合部内に通し配筋する大げりで、地震時に柱フェイス位置に曲げヒンジを想定する主筋の径は、「 $D/d > f_s/3.6(1.5+0.1F_c)$ 」を満たすようにする。と記述があるのを知っているかい？



ああ、知っているよ。2007黄色本にも同様の記載があったはずなんだが、最近になってよく質疑されるよな～

それ、2007黄色本p.373では「次の式を満たすようにする。」ではなく、「次の式を満たすことが望ましい。」となっていたから質疑が少なかったと考えられるね



なるほどそういう事だったのか！2015黄色本発刊前は、望ましいという表現だったから審査機関や通判からは厳しく言われなかったんだ



D: 当該鉄筋が通し配筋される部材の全せい
 d: 主筋径
 F_c: コンクリートの設計基準強度(N/mm²)
 f_s: 当該鉄筋の短期許容引張応力度(N/mm²)



「S55建告1792号第4第一号」の梁部材種別算定FA～Fdにおける「急激な耐力の低下のおそれのある破壊を生じないこと。」を確認する為にその式を満たすことが必要となる訳だよ



その式を満たさない場合はコン強度・柱せい・梁主筋径を変更する事となるのか！

この検討は「2015黄色本p.396～p.398」の柱はり接合部の検討方法①～⑥の⑥であり、2015黄色本p.396にある様に満たさない場合として「接する柱部材の種別をFdとする」方法もあるね



2015年版のICBA Q&A No.50 には、「規定の式はRC規準(2010)の(17.3)式と同じで、付着に関する特別な検討を行わない場合は、この式によって検討するものとしてください。」とも記載されているな



分かったよ、ありがとう～



図表は株式会社ワカベインターテイメントのMSスタンプを引用。

編集後記



秋が深まってまいりました。暑くも寒くもないこの時季は過ごしやすく、せつかなので何かをしないとつまらないと思うのですが、案外これというものがありません。うかうかすると冬になるので焦ります。とりあえず夏に大活躍したクーラーを掃除しようかと思ひます。



9/25
庄内緑地
ヒガンバナ